

自動車ヘッドライト、球場のLED照明… くらしの多彩な場面に活かされた 真空蒸着加工技術

横浜真空



同社外観

ターゲットでおなじみである。

生産方針「工程内不良撲滅のために会話と行動」「総合原価低減のために努力と行動」、品質方針「顧客の満足を得る製品を常に生産するために、すべてのプロセスの中で継続的な改善を推進する」のもと、難易度の高い蒸着技術に関しても井田社長自らお客様と相談を重ねながら適切で完成度の高いアイデアを提案できる同社は、お客様からの厚い信頼、満足を勝ち得ている。

既存の取引先からの相談はもちろんのこと、今後も新規顧客からの相談を積極的に受け、お客様のニーズに井田社長以下柔軟な発想で応えていく。

蒸着技術に関することなら同社へ！業種問わず、まずはお気軽にご相談ください。

横浜真空(横浜市鶴見区駒岡、井田正春社長、045・580・1170、<http://www.ipros.jp/company/detail/2032989/>)は、昭和38年の創業以来、真空蒸着に特化した経営を続けており、同社の技術力はあらゆる業種の取引先より高く評価されている。

金属だけでなくさまざまな製品を加工することができ、また環境にもやさしい真空蒸着技術の特性を活かして、主力製品である自動車のヘッドライトの反射鏡のほか、自動車に取り付けるエンブレムや仏具、プラモデル、携帯電話ケースなど多様な製品を手がけている。

最近では、LEDの普及に伴ってLED照明の反射鏡の取扱いも増えてきており、今年から横浜スタジアムが採用したLEDライトも同社の技術が活かされ、ナイ



同社製品を前に、井田正春社長